

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-18号)

平成28年10月12日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年10月7日に伊勢湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

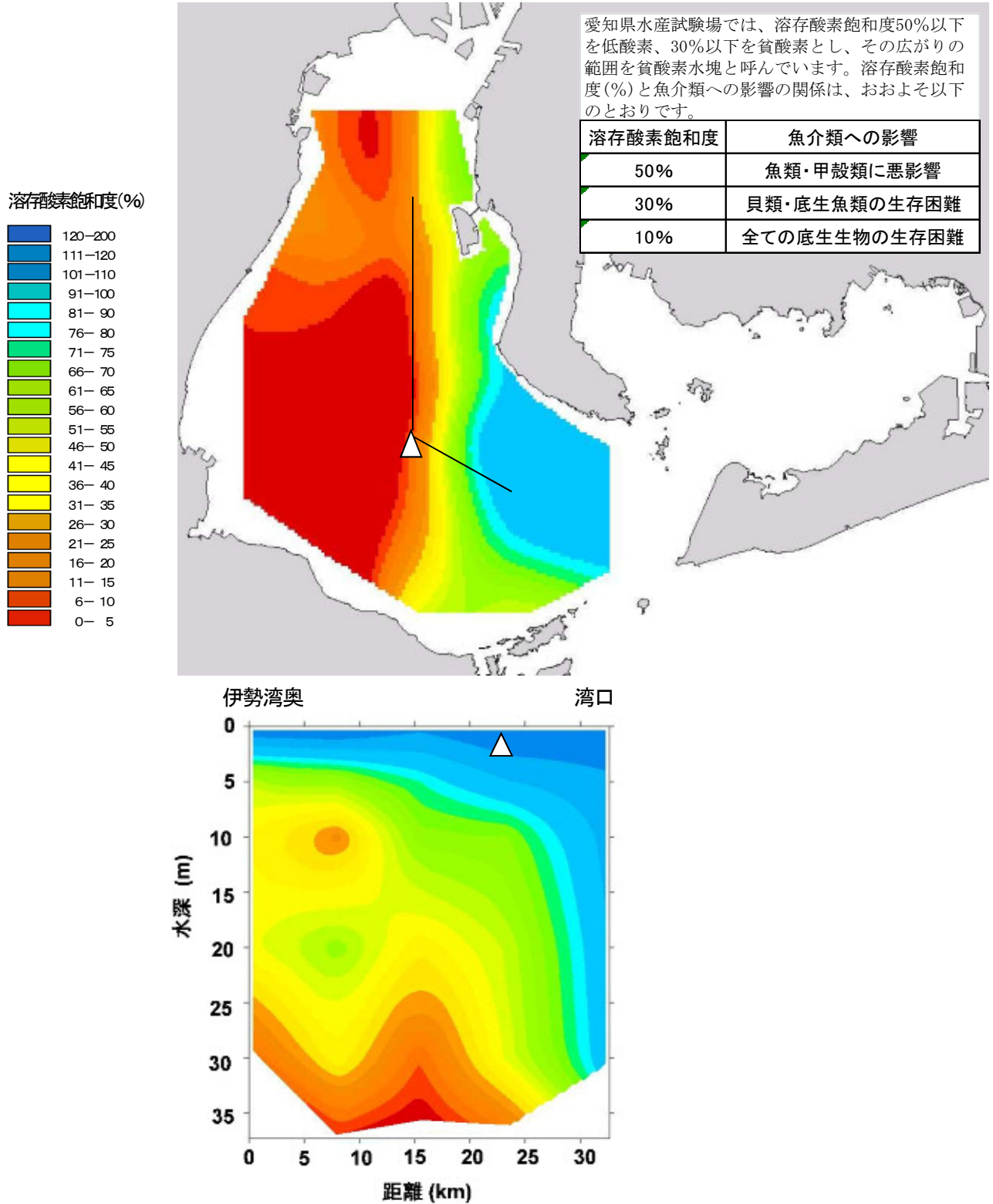


図1 伊勢湾(10月7日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)
(三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

10月7日の調査結果を図1、表に示しました。前回調査(9月28、29日)と同様に広い範囲で貧酸素水塊が確認されましたが、外海水が湾東部に流入しているため湾西部に偏在していました。また、空港沖では底層の貧酸素水塊が中層に持ち上げられた様子が確認されました(図1)。

今後は、表層水温が低下し、表底層の密度差が小さくなるため、海水の上下混合が生じやすい状況になることから貧酸素水塊の規模は縮小傾向になると考えられます。

表 調査時の水温、塩分

	水温(°C)			塩分		
表層	23.3	～	24.8	20.6	～	30.2
底層	23.0	～	24.7	32.1	～	33.7

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

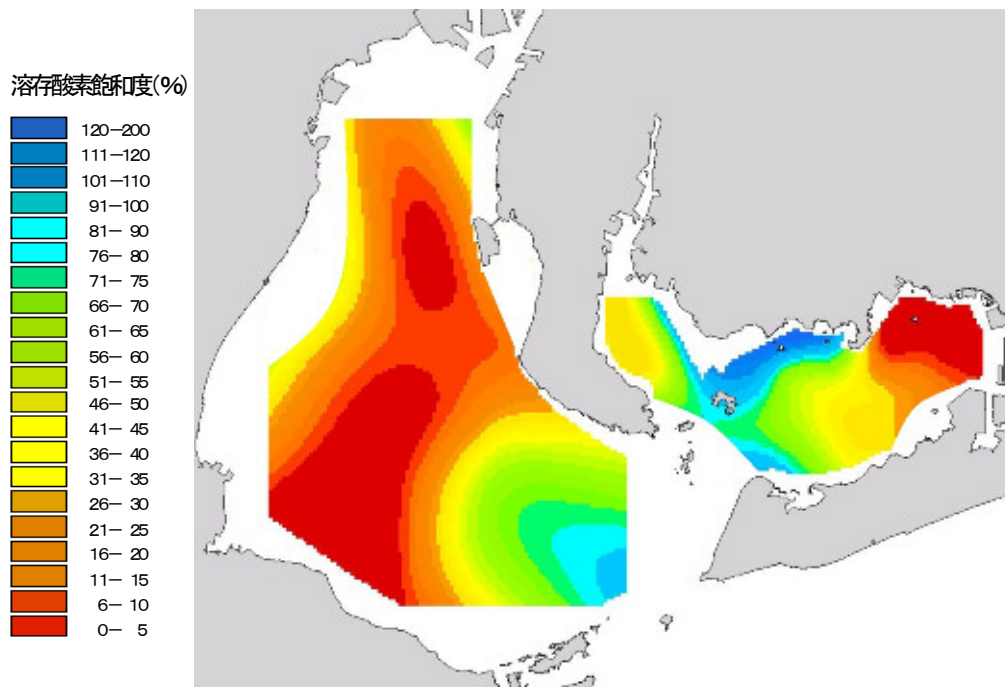


図2 平成28年9月28、29日(伊勢湾)、10月3、4日(三河湾)